

明治時代は、明治45年7月30日まで
明治最後の年に生を受けた6人
6人の笑顔は、時代を超えてこれからも輝き続けます

石川艶子さん 一関市滝沢



民謡が好き
手芸で手を動かす

明治45年
6月15日

艶子さんは、20歳で綾司さんと結婚。子は9人、孫は10人、ひ孫は11人です。手先が器用な艶子さん。紙人形や手芸をして、手を動かしていました。民謡が好きで、カセットテープでよく聞きます。6月15日、入所する福祉施設で誕生日を迎え、家族から100本のバラの花束が贈られました。誕生ケーキをおいしそうにパクパクと口に運んでいました。

加賀さた子さん 千厩町千厩

朝1杯の水で健康に
スポーツ観戦が趣味



明治45年
6月25日

さた子さんは、24歳で多蔵さんと結婚。子は2人、孫は3人、ひ孫は6人です。スポーツ観戦が好きなさた子さん。野球やバレーなど、新聞のテレビ欄をチェックして欠かさず見ます。6月24日、町内に住む孫らが集まり、自宅で誕生祝いをしました。目覚めのコップ1杯の水を飲み続けていることが長寿の秘けつと、笑顔で話します。

伊藤モトメさん 千厩町清田



ハーモニカを吹き
川柳で気持ちを詠む

明治45年
7月2日

モトメさんは、22歳で幼なじみの正二さんと結婚。子は5人、孫は10人、ひ孫は16人です。ハーモニカが好きで、童謡を吹いていたモトメさん。ラジオを聞いたり、川柳を詠んだり多趣味です。7月2日、入所する藤沢町内の福祉施設で誕生日を迎えました。長寿の秘けつは好き嫌いをしないこと。お祝いのケーキをおいしそうにほおぼっていました。

熊谷トミコさん 大東町大原



山菜採りが好き
子供の服は手作り

明治45年
7月8日

子6人、孫10人、ひ孫21人、やしゃご9人に恵まれたトミコさん。山が好きで、よく山菜を採りに行き、ゼンマイ料理を作りました。子供の服は自分の着物を裁って、手作りました。7月8日、トミコさん100回目の誕生日を祝おうと、自宅には親類約30人が集まり、にぎやかな声が飛び交いました。農作業で培った体力が長寿の秘けつです。

川上ヲセヨさん 一関市滝沢



手先が器用で裁縫が得意
ゲートボールが好き

明治45年
7月9日

ヲセヨさんは、大船渡市三陸町出身。20歳で甲二さんと結婚。子は6人、孫は10人、ひ孫は14人です。裁縫やゲートボールが好きなヲセヨさん。雑巾縫いやおしぼりたたみなどを手伝います。7月9日、入所する福祉施設で誕生日を迎えました。園から贈られた記念のDVDや同じ沿岸出身の柳本ウメヨさんからの祝福の言葉に笑顔がこぼれました。

佐藤トキさん 花泉町永井



スカートをはいて
おしゃべりを楽しむ

明治45年
7月10日

トキさんは、北海道留萌町出身。30歳で恭さんと結婚し、花泉町に移りました。民生委員を24年務めたトキさん。きれい好きで、掃除を欠かさなかったそう。今は、歩行器を使って歩き、おしゃべりを楽します。7月10日、入所する施設で誕生日を迎えました。おしゃべり好きなトキさん。スカートをはいて、笑顔を見せました。

広報いちのせきが全国入選

COMMENDATION

(社)日本広報協会主催の「24年全国広報コンクール」で、当市の広報紙「広報いちのせき」が広報紙市部で入選しました。

表彰式は6月29日、水戸市で開かれた第49回全国広聴広報研究大会の席上行われ、市に賞状が贈られました。

同コンクールは、23年中に発行された全国自治体の広報媒体を対象に実施されたもので、このうち広報紙は①企画②文章③デザイン・レイアウトなどを基準に審査されました。広報いちのせきは、今年1月に行われた岩手県広報コンクールで県代表となり全国審査を受けました。入選した23年12月号はA4判32ページ。かつて東北本線の花形だったC61型蒸気機関車の力強い走りを表紙に、住民活動、地域の動き、行政情報などをバランスよくフルカラーで伝えました。このうち特集「本寺に生きる。」は、中世の農村景観、生業、信仰など未来へと伝えたい多くの遺産が保全されている巖美町本寺地区にスポットを当てました。東日本大震災で多くの人が家族や地域の「絆」を再認識させられ、日本中で人と人とのつながりやコミュニティのあり方が見直されている今、同地区の取り組みをフィルターに、心を寄り添うコミュニティとは何か、共に生きていけるコミュニティとは何かを13ページにわたって考えました。

広報紙は市民の皆さんと共に作っています。取材に協力してくれた皆さん、原稿や情報を寄せてくれた皆さん、印刷を手掛けてくれる印刷業者、配達してくれる配送業者や行政区長の皆さん、そして毎号、読んでくださる読者の皆さんありがとうございました。市はこれからも、皆さんの役に立ち、皆さんから必要とされる「中東北の拠点都市 いちのせきの元気を発信するマガジン」を目指します。



全国広報コンクール広報紙市部で入選した広報いちのせき2011年12月1号。審査の講評は次のとおり。
【講評】特集は、本寺を機軸に6つの「力」をプロットに魅力的な紙面展開で訴求効果を上げている。編集も丁寧で一分の隙もない出来具合。どのページをとっても神経が行き届いている。表現面は、扉をはじめ各ページに掲載された写真のクオリティが高い。デザイン・レイアウトも視覚的な計算が紙面の随所から見て取れる。市販の雑誌と見比べて遜色の無い完成度。「百年目の寿」「市民のひろば」などコンテンツにも好感が持てる。